

2019年度 電磁波工学(月3限、担当: 安藤)

授業における注意点

1. この授業は、II類の 情報通信工学 および 電子情報学プログラム の授業です。
他類・他プログラムの方も受講可能ですが、類内に類似の科目がある場合は履修が認められませんので注意して下さい。
2. 黒板で板書をして進めます。教科書はありません。不定期に演習を設けます。
3. 成績は、①出席点、②授業内での演習、③中間・期末試験で評価します。出席点 15%、授業内での演習 15%、中間テスト 35%、期末テスト 35%の配分とします。
4. 出席点について
 - (1) 授業に遅刻せず出席すること。毎回の授業で出席をとります。座席の書かれた出席簿を回します。
遅刻した人は「遅刻」の欄に氏名を書いて下さい。出席点は成績の考査材料ですので、遅刻を申告しない人は「不正行為」としてとりあつかいます。
 - (2) 授業に積極的に参加すること。以下を評価します。
 - a. 「講義を教室の前方で聴くこと」
前方で受講して下さい。必要以上に後ろの席に座っている人(出席簿のグレーの席)は出席点を低くします。
 - b. 「授業をよくするために発言をすること」
単に聞いているだけでは積極的な参加ではありません。分からないことは質問する(質問する機会を設けます)、安藤からの問いかけることもしますので、それに対して何らかの反応をすることで「積極的な参加」となります。
授業中の発言(質問、安藤の間違いの指摘、安藤の質問に対する回答)は、1回につき中間テストまたは期末テストの点数に1点加点します。
5. 止むを得ない欠席は、教務課から欠席届けを得て下さい。その際の欠席は減点せず、ノーカウントで扱います。欠席届を発行してもらえなかった人は個別に相談して下さい。基本的に、妥当な欠席理由と「それを証明するもの」を提示してもらえればノーカウントとします。
(証明するものの例: 病気、怪我等は病院や調剤薬局のレシート、電車の遅延証明書、学会などであれば参加したプログラムなど)
事前に欠席が分かっているものは事前に連絡をして下さい。
ただし、その回の授業内容については他の人からノートを借りるなどをして勉強をして下さい。
6. 障がい等で特別な措置が必要な人は安藤まで申し出て下さい。
7. オフィスアワーは「金曜日5時限目」にします。上記時間が不都合な人はメールを下さい。